

しものせき トピックス

Shimonoseki Topics



新しい音楽ホールで練習する
勝山小学校合唱部の子どもたち



新しい勝山公民館

二つの保健センターがオープン

二つの保健センターがオープンしました。市役所本庁に整備中の本庁舎新館の3階に「唐戸保健センター」がオープンし、勝山公民館1階には「新下関保健センター」がオープンしました。両センターでは、出産・育児のための教室や母子健康手帳の交付、妊娠・育児相談、健康教室、健康相談など健康づくりのための保健サービスなどを提供します。気軽にお越しください。



唐戸保健センターでの育児相談風景

勝山公民館が完成

1月25日、勝山公民館、勝山支所、新下関保健センターの完成を記念して、公民館活動団体を中心に、地元関係者手作りの式典と内覧会が開催されました。

公民館には防音性に優れた音楽ホールや耐震性(ダンスなどに対応)を高めたレクリエーション室などが備えられ、それぞれ地域団体の練習などが公開されました。併設する旧公民館は解体して、駐車場を整備する予定です。

使用済小型家電の無料回収

市では1月から小型家電の一部を無料で回収しています。環境省の「小型電子機器等リサイクルシステム構築実証事業」の一環で、レアメタルなどの有用な金属を抽出し、再生利用します。回収品目は、携帯電話端末や補聴器、リモコンなどの付属品で、40センチ×20センチの投入口に入る物です。しものせき環境みらい館、吉母管理場、奥山工場、クリーンセンターで回収しています。



しものせき環境みらい館にて

豪雨を想定した防災図上訓練

1月17日、梅雨期や台風による豪雨による土砂災害、浸水、河川の氾濫などの災害を想定した下関市・長門市合同防災図上訓練がありました。下関市と長門市は「災害時の相互応援に関する協定」に基づき、毎年この時期に合同で図上訓練を行っています。

下関市では、岬之町の消防局庁舎に災害対策本部を設置し、市・国などの職員ら約150人が参加して訓練しました。



平成25年度下関市・長門市合同防災図上訓練



ふくのつかみ取りに挑戦!!



寒い中、並んだ熱々のふく鍋は格別!!

無料で振る舞われたふく鍋には長蛇の列ができ、大人気。ふくのつかみ取り」では、トラフグを子どもたちが懸命に追いかけてました。その他、ふく、くじらなどの物産即売もあり、多くの人たちが下関の味覚を堪能しました。

下関 ふくの日まつり

毎年2月9日は、ふくの語呂にちなんで「ふくの日」です。2月11日、恒例の「下関ふくの日まつり」が、南風泊市場でありました。

約1000食が

その後、中学校教諭、新聞記者は何でもやっとな苦勞を乗り越えてきました。

の活動にも期待が寄せられます。

“怠けもせず、励みもせず” ゆっくりと歩を進めてきた

現在、米寿を記念した企画展「作家生活報告書―古川薫は、あの日：―」を3月30日まで田中絹代ぶか

館で開催中。編集者からの手紙や赤トンボの自作模型などを展示しています。戦争体験の作品を書きたい」とこれからの執筆活動にも意欲的な古川さん。今後の活動にも期待が寄せられます。

作家になる決意をしたのは20歳を過ぎてからですが、幼少時代から大の好きさのこと。戦時中は東京の飛行機会社で、戦闘機に乗るパイロットの練習機・通称「赤トンボ」の製造に携わっていました。20歳の頃に終戦を迎え、「工場でのバイトなど、できる仕事は何でもやっとな苦勞を乗り越えてきました。」

者を経て文筆活動を開始。田中絹代や高杉晋作など郷土の歴史に根ざした文学作品を執筆しています。他にも幕末、関門海峡を通航する外国船に砲撃するも報復され、戦利品として持ち去られた大砲をフランスの博物館から返還してもらうなど、郷土文化の顕彰にも大きく貢献しています。

下町長府を華やかに彩りました。店舗には市民の皆さんが製作した「つるしかざり」も展示され、訪れた方を明るく迎えていました。訪れた方は、一つひとつに想いが込められたあざやかな「つるしかざり」を観賞していました。

城下町長府 ひなまつり

2月8日〜3月9日、城下町長府ひなまつりが開催されています。各施設、店舗には数多くの「ひな人形」や「つるしかざり」が展示され、歴史の舞台となった城



屋敷いっばいに飾られているひな飾り(長府毛利邸にて)



長府庭園のさげもん

しゅん・かん・びと
旬 関
今、話題のひとを紹介します

今年米寿を迎えた
直木賞作家/下関市立近代先人顕彰館 名誉館長

古川 薫さん

